

## 箱根山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

＜噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ＞  
箱根山では、火山活動が活発化しています。

昨日（5月18日）05時頃から火山性地震が増加しています。また、大涌谷周辺の想定火口域内では活発な噴気活動が続いており、GNSS連続観測では一部の基線で伸びが認められています。

これらのことから、箱根山では火山活動が高まっていると考えられ、想定火口域内に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

想定火口域内では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけではなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

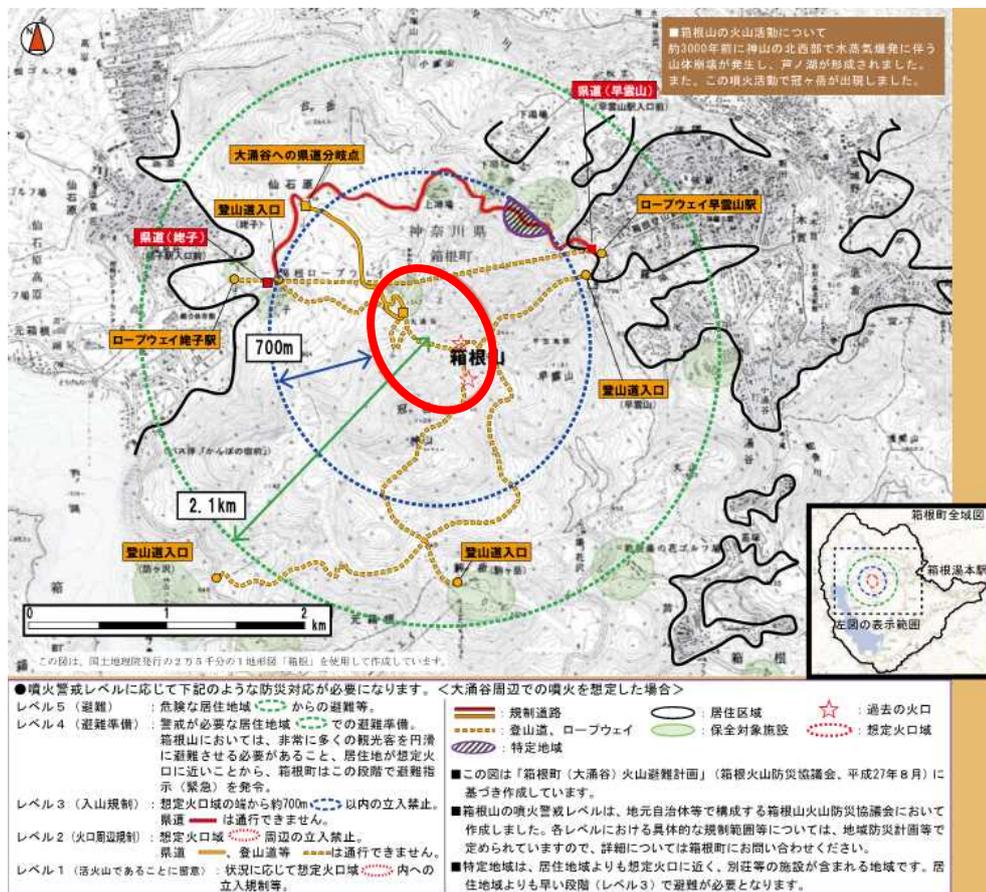


図1 警戒が必要な範囲：大涌谷周辺の想定火口域（図の赤円内）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

## ○ 活動概況

### ・地震や微動の発生状況（図3、図4-③、図5-③）

昨日（18日）05時頃から芦ノ湖の西岸及び駒ヶ岳付近を震源とする火山性地震が増加し、18日から本日（19日）03時まで46回（速報値）発生しました。なお、浅いところで発生する低周波地震は発生していません。

火山性微動は観測されていません。

### ・噴気などの表面現象の状況（図2、図4-①②、図5-①②）

大涌谷監視カメラによる観測では、2015年以降、大涌谷想定火口域内の噴気孔及び温泉供給施設から引き続き噴気が勢いよく噴出しています。

宮城野監視カメラ（大涌谷の東北東約3km）による観測では、早雲地獄の噴気は少ない状態が続いています。

### ・地殻変動の状況（図4-④～⑧、図5-④～⑧）

GNSS連続観測では、3月中旬頃から一部の基線でわずかな伸びがみられています。



図2 箱根山 大涌谷の状況（5月19日、大涌谷監視カメラによる）

・2015年以降、大涌谷想定火口域内の噴気孔及び温泉供給施設から引き続き噴気が勢いよく噴出しています。

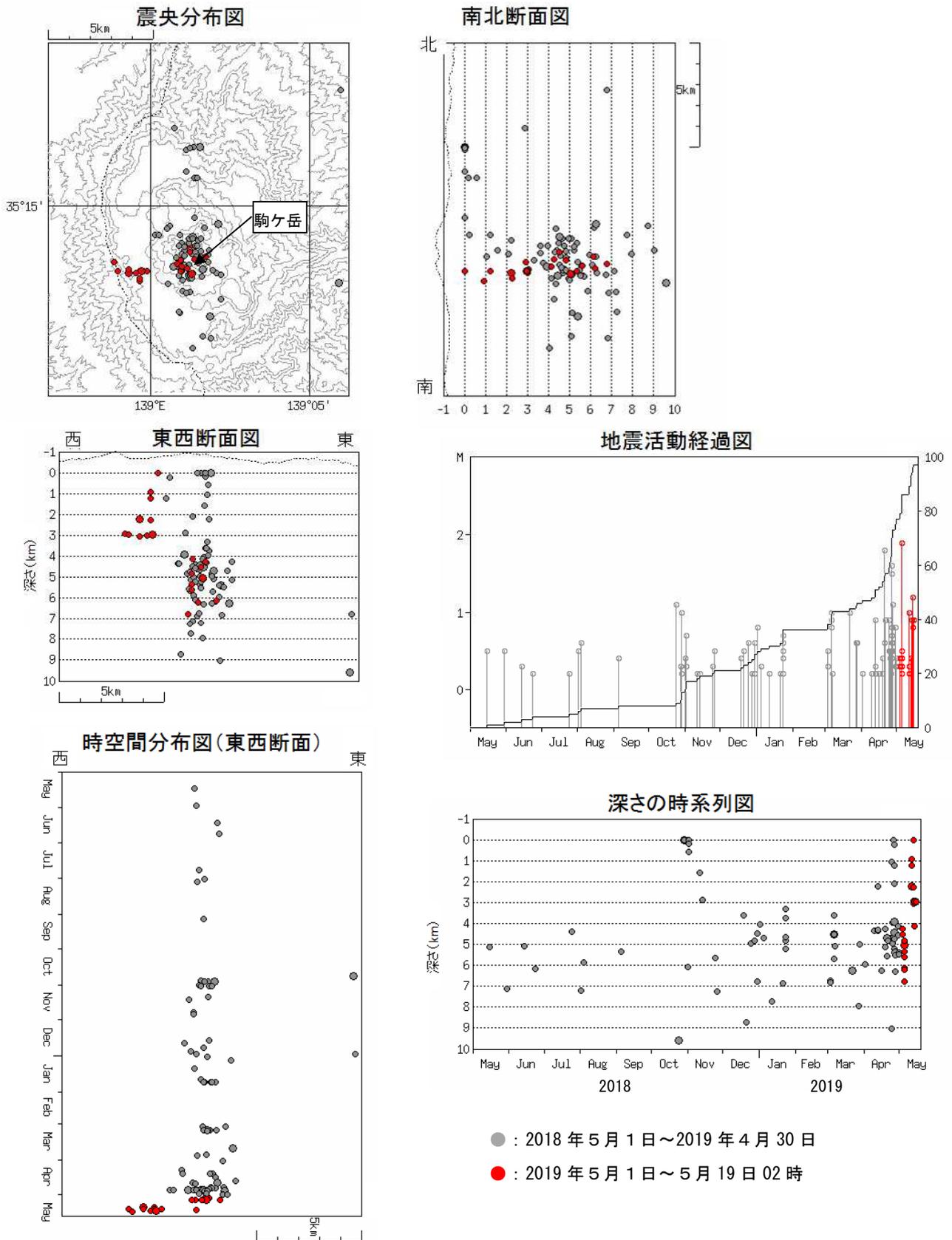


図3 箱根山 広域地震観測網による山体周辺の震源分布図(2018年5月1日～2019年5月19日02時)  
 M (マグニチュード) は地震の規模を表し、M0.2以上の地震を表示しています。  
 広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。  
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

- ・震源は芦ノ湖の西岸の深さ浅い所～3 km及び駒ヶ岳付近の深さ4～7 kmに分布しました。

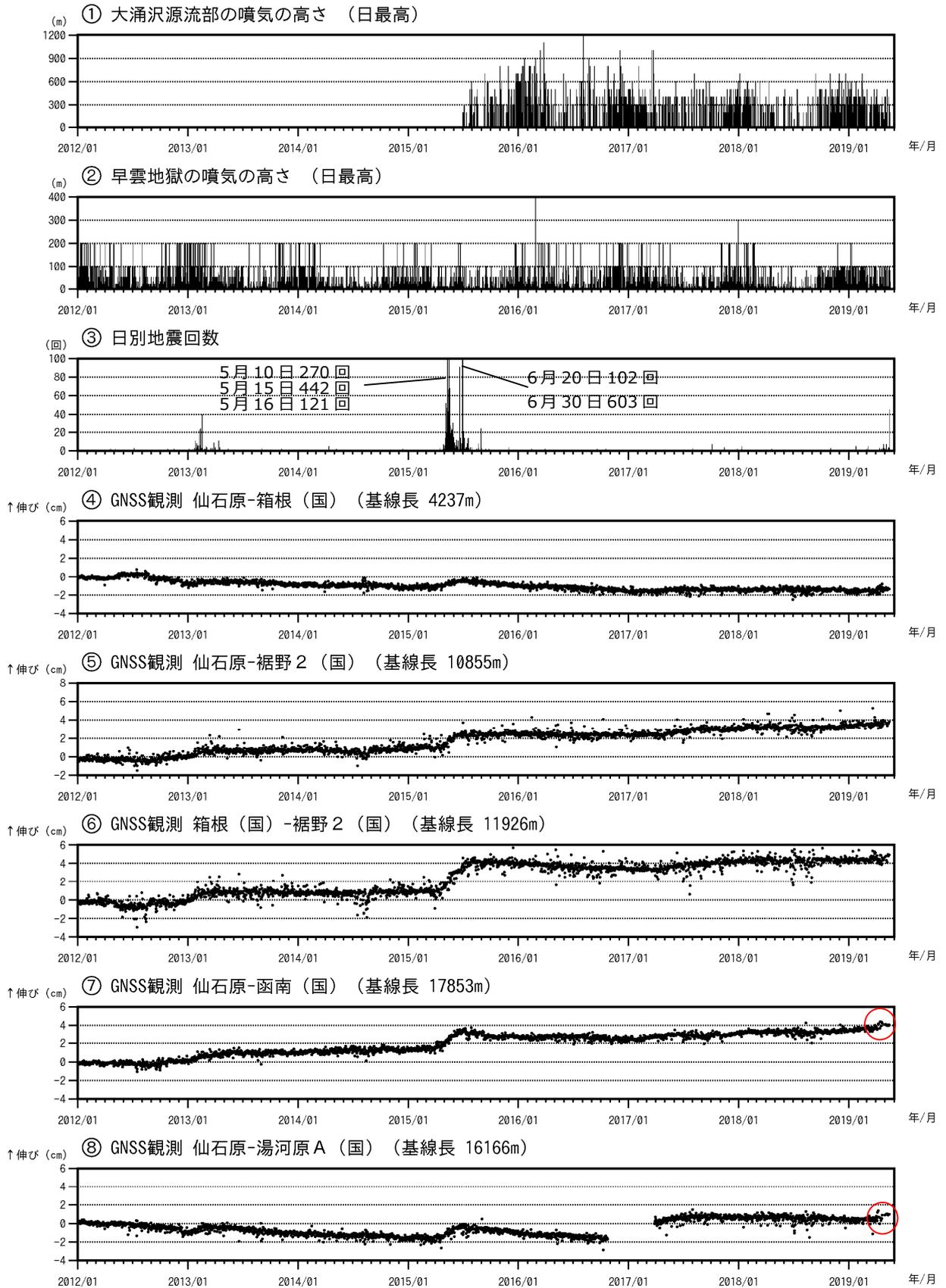


図4 箱根山 火山活動経過図（2012年1月1日～2019年5月18日）

（国）：国土地理院 ④～⑧は図7のGNSS基線④～⑧に対応。空白部分は欠測を示します。

- ・3月中旬頃から一部の基線でわずかな伸び（赤丸）がみられています。

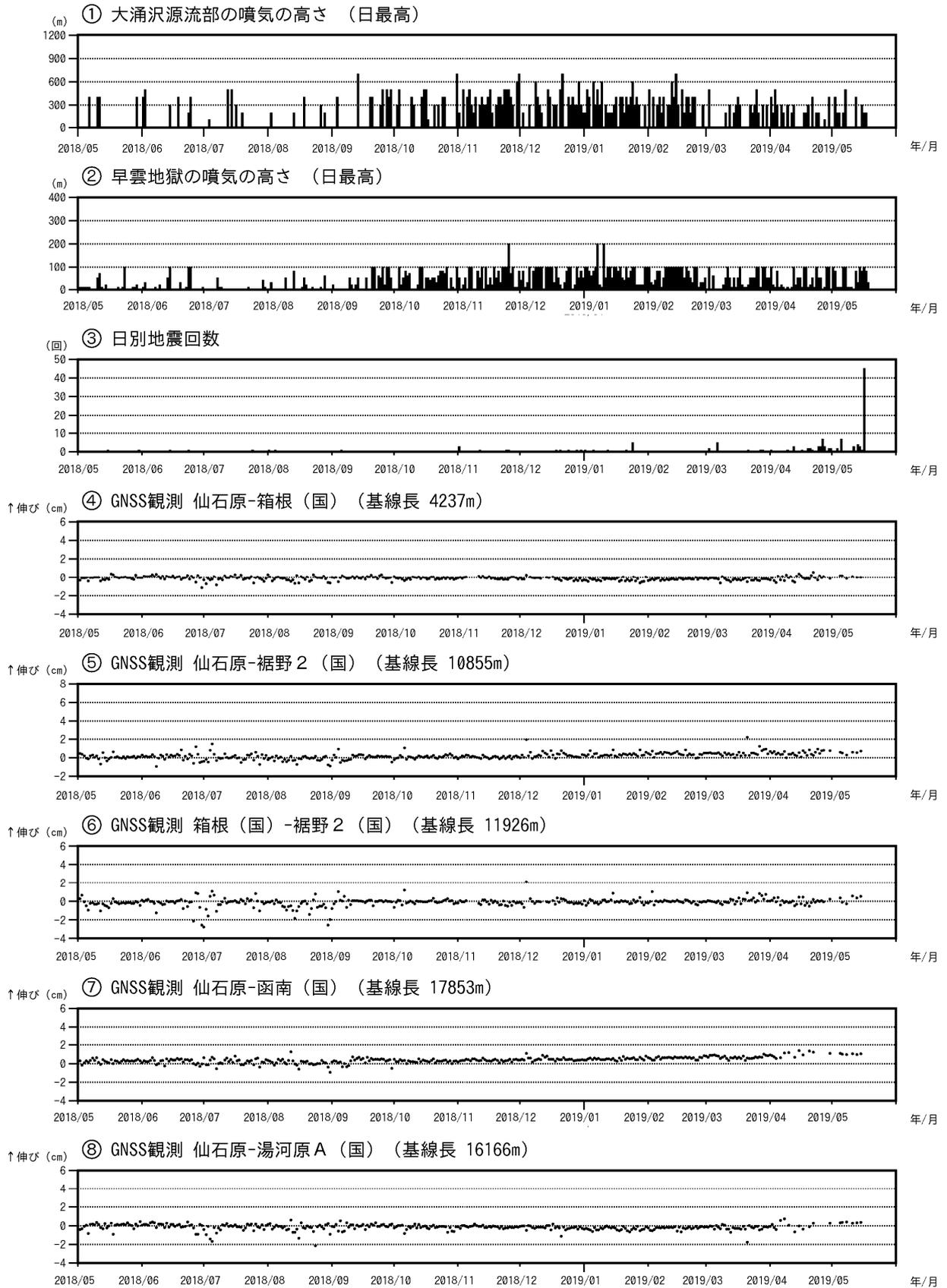


図5 箱根山 火山活動経過図（2018年5月1日～2019年5月18日）  
 （国）：国土地理院 ④～⑧は図7のGNSS基線④～⑧に対応。空白部分は欠測を示します。

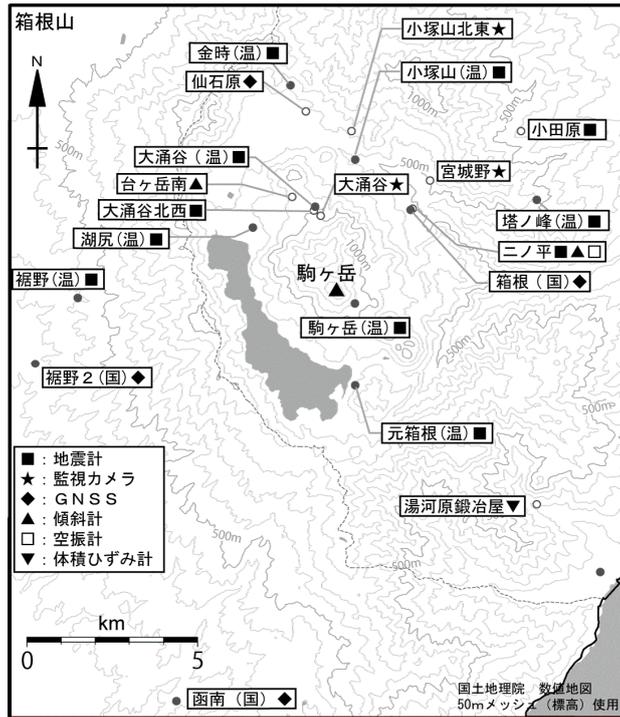


図6 箱根山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の観測点を示しています。

（国）：国土地理院、（温）：神奈川県温泉地学研究所

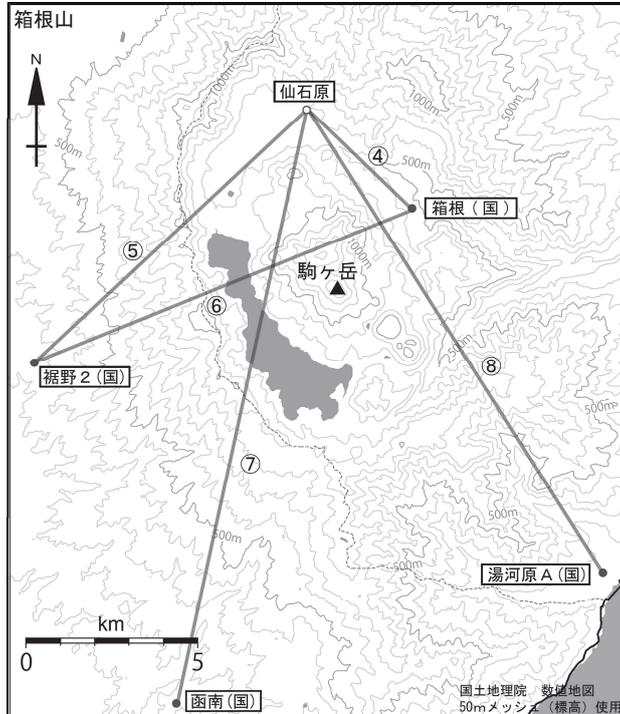


図7 箱根山 GNSS連続観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の観測点を示しています。

（国）：国土地理院

GNSS基線④～⑧は図4、5の④～⑧に対応しています。